

景気動向指数 平成 23 年 10 月分（速報）の概要

10月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：91.5、一致指数：90.3、遅行指数：82.3となった。（注）

先行指数は、前月と比較して保合となった。3ヶ月後方移動平均は1.10ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.16ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して1.3ポイント上昇し、4ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.03ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.57ポイント上昇し、8ヶ月振りの上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して3.9ポイント下降し、3ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.40ポイント下降し、3ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.14ポイント下降し、21ヶ月振りの下降となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、下げ止まりを示している。

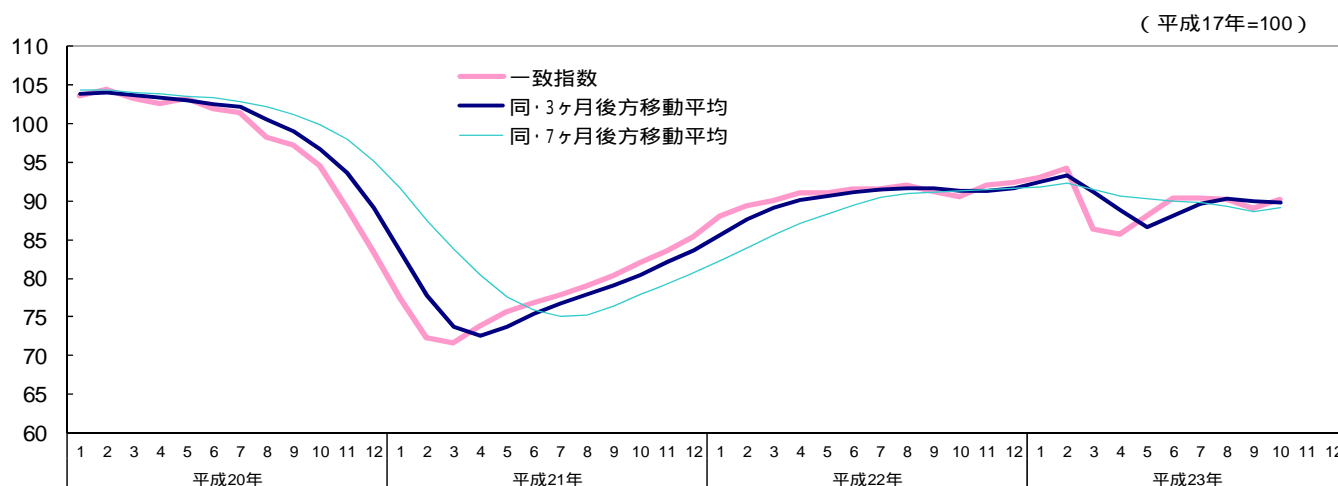
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C3：大口電力使用量	0.34	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.02
C1：生産指数(鉱工業)	0.24	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.01
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.22	C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.00
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.21		
C4：耐久消費財出荷指数	0.19		
C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	0.16		
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.06		
		C9：営業利益(全産業)	-0.06

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）23年9月分より、景気動向指数の第10次改定を反映した指数に切り替わっている。なお、現時点で得られる値のみで求めた。